

ろうか。

し 寺領は今四段、昔は十町あつたという。現在門前と云う地名が、はるか向うの方にある。かつては相当の境内だつたと思う。司会 緒方の方も居られるので、それについて

K 宇佐大鏡では、緒方郷に宇佐宮の封戸五十戸があつた。これが後に緒方庄となり宇佐の庄園となつたものだ。

(以下頁数及び速記録の都合で省略した。司会者及び発言者諸氏の御宥恕を御願ひします。尙本座談会について多大の御奔走を頂いた伊東東氏、土生米作氏・内山蓮城寺住職大綱慈長氏及び三重町当局に深い感謝の意を表します。)

会報

初詣と史蹟廻りの会

一月三日NHKと共催で、寒田八幡社の初詣をかね、滝尾・曲・敷戸・寒田八幡秋岡常樂寺・高瀬石仏等史蹟の見学を行った。参会者約三十名で、極めて有意義に終つた。

南大分の歴史を語る会

一月十八日午後一時から南大分小学校で

「南大分の歴史を語る会」として講演と座談会を行った。講演者名および演題左の通り。

- 一 古代の南大分 賀川 光夫
- 一 国府時代の南大分 渡辺 澄夫
- 一 一条里制について 兼子 俊一
- 一 南大分の古文書 中野 幡能
- 一 大給時代の南大分 久多羅木儀一郎
- 一 明治初年の百姓一揆 立川 輝信
- 一 近代の農民意識 富来 隆

学校側の熱心な御奔走のお蔭で参会者六百名を超える盛況で、さながら大講演会が行われ、一同隔意なく互いに質疑の応答があつて益する所多大であつた。

雑誌編輯についてのお知らせ

○会費納入について 毎回の事ですが、未納の方は至急お願い致します。今回からは未納の方には雑誌送附は見合せる事とし、納入されてから送本します。若し納入されず脱会される方は、既判分を会に御返品下さらば幸です。

○投稿について

①枚数や期限については特に規定を設けませんが、大体十五枚を限度とし、時によつては多少増加しても差し支えあ

りません。

- ②原稿は出来るだけ楷書で、明瞭に。
- ③句読点をはつきりつけること。
- ④漢字は出来るだけ平易にし、当用漢字によられたい。
- ⑤原文引用の際は己むを得ませんが、時に誤りと思われ、また意味不明のものがあつり、校正ごとに編輯子をなやまします。特に御協力御願ひいたします。
- ⑥註のつけ方や原文引用の仕方は、普通の学術雑誌の方法によられたく、これも雑誌編輯上大きな障碍です。
- ⑦校正は最寄りの方には一度は投稿者に校正を御願ひしますが、それ以上の事や、遠地の方の方は当方で致します故、御諒承下さい。

立川委員の災難

○本会常任委員立川輝信氏は、去る三月廿六日不幸火災に遭い、家屋の一部と蔵書の重要部分を焼失されました。本会より早速居合せた数人がかけつけ、御見舞を申し述べました。右御知らせ致します。